

みなしご通信



ひろし 高熱続きで危機一髪

3月10日は武蔵村山に6匹のお迎えに行きました。ひろしは大きな異変が起きておりました。熱が39度から41度を行ったり来たり。ひろしはこんな状態でしたが私は11年前のあの時、福島原発20km圏内で助けることができなかった福島の子たちに誓ったのです。【これから先の人生、

私は本気で動物愛護道を行く】そのために親の死に目にもあわなくてよい...と。なのでひろしが高熱でも私は活動を続けました。活動が終わるとすぐに帰宅しなるべくひろしのそばに居るようにしました。ひろしの状態は日に日に悪くなりニホンザル研究家の先生や広島動物園の獣医さんたちの意見を聞き、3月12日、みわ先生のとこでバリウム検査をすることに。解熱剤を使うも熱は下がらず冷え冷えを首に巻いたり座布団にしたり、私のお腹に冷え冷えを入れたり。私のお腹は冷たいんだけど(笑)



ひろしは高熱でボクッとしながらも私の手の毛づくろいをしてくれるし、私の腹が冷えるぐらいなんちゃやないでしょう。



バリウムを飲ませレントゲン撮影をするも、閉塞はしていないけど流れが非常に悪く、胃の中の異物を吐かせようとしても吐き出しません。3月15日に内視鏡検査。異物は胃から十二指腸へとくっついていてこれでは吐こうにも吐けないしウン〇としても排泄できない...ってことがわかりました。なので内視鏡手術により胃の中にあつた不織布のようなモノと人間の髪の毛の塊を取り出しました。十二指腸にはまだ残っていますが胃にあつた部分を取り出したことで、ちぎれた残りが肛門から押し出されることを祈り、一旦終わりにしました。

中谷百里 還暦

1962年3月22日、大雪の降る中、広島市の三篠産婦人科医院で生まれ、いろいろあつたけどあつとあつと間に60歳♪若い頃は30過ぎたらもうオバン、40過ぎたら死にかけなくって思っていました。がイザ60になるとぜんぜん普通で青春まつただ中！



にしました。その後、なんとかかんとか徐々に良くなり、食べられるようになり、私の服を噛みちぎってボロボロにするようにもなり、ひとまず「復活」を果たしました。

車いすの鹿×2

し前。そこらじゅうにサロンプラス貼って頑張るオバサン中谷百里！何気に赤いちやんちゃんこが着たかった私。できればズボンも欲しかった...赤いズボンがあつたら毎日はお祝い... こんな私のためにお祝いを送ってくださった方々、本当にありがとうございます。何ならまた来年よろしくお願いいたします。

交通事故で右前足を失ったJAMのお外デビュー。先輩の車いす鹿、パンくんの方を見ません。JAMの方が1歳若いし女の子だしね、すぐにカバーをかけたました。JAMは超緊張、パンくんも少し緊張。でもお互い、いつかは慣れてもらわんと... 3時間後、JAMがお部屋に帰る時間がやってまいりました。 お迎えに行き車いすガードを取って再び直接二対面。すっかりなじんだパンくんと、緊張してろう人形のようにまったく動かないJA



Mです。鹿は集団で暮らす動物。これから春に向けパシくんと一緒に放牧時間がJAMにとって楽しい時間になりますように。農作物を荒らすと言われる、害獣指定されているニホンジカですが、こんなに美しい瞳をしています。



イノシシ母娘

夕方ケージ掃除をする間イノシシ2頭のうちカンジは裏庭に出ますが、前面道路の交通量が多い広島本部ひなこは裏庭に出ず室内自由カップ&ブラッシングです。カンジの毛は自然に生え変わるのですがなせかひなこの毛は抜けきれないので私が《手》でブラッシングしながら冬毛を抜きます。 ※イノシシはものすごい臆病だからブラシ類は使えません

毎日自然な感じで抜いていき、皮脂も取り除きます。イノシシは泥浴びするので皮脂は真っ黒(笑) 泥浴びはイノシシの習性だから止めても止めてもやめてくれません(笑) ブラッシングしたあとの私の手は真っ黒に。皮膚に着いた汚れは石鹸で簡単に落ちるのでが爪の間に入ったのがなかなか落ちなくて、昭和のガキの手のようになります(笑) とにかくイノシシはかわいいです！ちゃんと不妊・

去勢手術をして室内で飼えばよくなつくし、動きはかわいし、絶対に他の動物とケンカしないし、お留守番は完璧だし、庭で泥浴びさえできたらご機嫌だし：これほどラクチンな動物はいませんよ♪



背中穴消えた

皿洗いをしていたら、誰？ くらい人なつっこいね。この猫は：光TNRのじん？ 背中の腐りが治つとるじゃん！ TNR時は悪臭がしていて何気に奥が深く、青い薬をたんまり入れて広島本部に連れて帰ったところで私は栃木に行き：の流れ。じんのケージには『背中がく

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



さい』と書かれ、それぐらい腐敗していたんです。ところが、今のワシを見てみる！ ほら、肉もよくついてきたし、穴なんかどこにもないけえ！ 犬や猫が死ぬかもしれないぐらいのケガをしても人間がほんの少し手を貸してあげるだけで助かる命は無数にあります。皆さまもどこかの街角で困っている猫や犬が居たら病院へ連れて行き治療してあげるか、もしくは『ようこそ犬猫みなしご救援隊へ』お電話くださいね。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPAN GIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。